(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和 4 年 1 月 14 日　　企業・団体名：株式会社高知放送

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・人権に関する専門委員会を常設し、相談窓口も整備するなどして、採用、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で、差別のない体制を構築しています。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメント防止規定を定め、啓発や相談窓口周知のための社内掲示をしたり、管理職研修を開いています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・働き方改革、子育て世代の応援、テレワークの柔軟な運用などを積極的に推進しながら、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・人権に関する専門委員会を常設し、相談窓口も整備するなどして、採用、登用、福利厚生等あらゆる雇用条件で、差別のない体制を構築しています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・番組中継や取材時の安全衛生確保については、毎月開いている職場安全衛生委員会で随時議題に上げ、検討をしています。			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・「心とからだの健康づくり」計画を策定し、従業員研修を開くなどして、よりよい職場環境づくりや啓発活動に取り組んでいます。			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・今春移転予定の新社屋建設においては、ゆとりある動線の確保に努め、各執務フロアにバリアフリートイレを配置するなど、女性や障がいをもつ方にやさしい構造を採用しています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・「希望研修制度」を設けています。従業員がやってみたいことを自ら提案し、採用されれば会社が費用を負担するもので、業務への直接的な関連性を問わず、将来のために見聞を広げたり、スキルアップしていくことに寄与しています。				4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、正社員や臨時社員などの雇用形態を問わず、公正な待遇を心がけています。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・「心とからだの健康づくり」計画を策定したり、従業員研修を開いたりして、よりよい職場環境づくりや啓発活動に取り組んでいます。			3					8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・新型コロナウイルスへの対応策としてテレワークや時差出勤を実施しました。 ・ノートPCやルーターを整備し、WEB会議はいまや日常の業務スタイルとなっています。			3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・今春の新社屋移転に伴い、全従業員にスマートフォンやノートPCを配付するなどして、業務の効率化を目指しています。								8	9.1		11	12				
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・不用品を廃棄する際は、分別を徹底し、再利用可能な物品はそれぞれ専門業者に引き取ってもらうなど、純粋な廃棄物を減らしていく取り組みを続けています。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・毎月の請求明細などから使用料を把握し、電気については社屋照明のLED化を進めているのをはじめ、こまめに消灯したり、空調設備の温度設定を集中管理するなどして、省エネに努めています。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・高知県地球温暖化防止県民会議に参加し、クールビズやウォームビズ、節電対策など身近な取り組みを地道に継続しています。現在、具体的な排出量は把握していませんが、電力・ガソリン等の確認から排出抑制に努めています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・【該当なし】法令等で規制されるレベルの有害化学物質は使用していません。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・自社の事業活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮しているのはもちろん、ラジオ・テレビ番組の放送により、環境保全やエコを広く県民に訴え続けています。						6.6									15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を社内で奨励しています。 ・館内のゴミ収集方法として、デスク回りで出した廃棄物は、各自で集積場所に持って行く運用にして、廃棄物そのものの排出を抑制しています。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・社車運転時のアイドリングストップや適性速度での運転の奨励、館内照明のこまめな消灯、クールビズ・ウォームビズによる空調設備の過剰運転の抑制など、できることから地道に取り組んでいます。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・社屋内水道蛇口に節水器具を取り付けています。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・新社屋建設時をはじめ、現社屋でも設備更新の際には、高効率機器を採用するなどして、省エネを心がけています。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・食品ロスや環境保全に関する啓発CMをラジオ・テレビで随時放送しています。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・就業規則等により、汚職・贈収賄禁止を含む行動規範を整備し、社内周知を図っています。															16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・報道機関として、コンプライアンスにはより一層の気配り、高い意識を持って業務にあたるよう従業員教育を行っています。															16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・企業活動分野では総務局が、放送する番組内容の分野においては編成業務局が随時確認や情報収集を行い、知的財産の保護に取り組んでいます。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・「個人情報保護規定」「特定個人情報保護規定」「セキュリティポリシー」等を策定し、情報漏えいの未然防止に努めるとともに、万が一事案が発生した場合の対応策も事前に取り決めています。															16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	【該当なし】当社の事業活動には、特段関係がないと思われます。															16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先との対話や書面を通じて、人権侵害の防止や倫理面での適切な対応に努めています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・コンプライアンスの観点からも放送番組の考査等を厳格に行っています。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・毎月開く社外有識者による番組審議会をはじめ、視聴者センターへのお電話や番組モニター制度による一般視聴者・聴取者のご意見を社内周知し、よりよい番組づくりに活かしています。									9							
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・社内では、再生紙の利用を促進したり、当社の製品に当たる放送番組では環境をテーマとする情報等を絶えず発信しています。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・県産材を使った木造住宅の展示場を20年以上運営しているほか、新社屋の建材にも取り入れるなどして、森林県、木質化をPRしています。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・報道ニュース、情報ワイド番組において多種多様な社会の課題に触れ、問題提起をし、その解決策を県民とともに考えていくような放送を心がけています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・放送事業者として、視聴者・聴取者の声を拾う組織体制を確立しています。 ・発信する情報が地域の方々に大きな影響を与えることを従業員一人ひとりが肝に銘じて日々の業務にあたるよう努めています。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・放送外活動として、NPO高齢者支援基金を設立しており、高齢者もしくは高齢者に寄り添う団体が取り組む様々な事業活動を支援しています。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・放送設備そのものについては地域での調達は難しいところがありますが、放送を通じて、地産地消・地産外商の促進に努めています。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・放送に従事する上で、法令遵守は大前提であり、あらゆる分野のさまざまな場面、機会において啓発を促し、周知徹底を図っています。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・「地域に根差し 地域とともに歩む」という社是は、各種事業を行う上での道標となっています。経営者はことあるごとに口にしながら、全社共通の認識として醸成しています。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・分野別に担当部署を決めていたり、委員会や会議を設立して対応しています。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・番組をはじめとする各種事業に対するご意見・お問い合わせは、視聴者センターで承っているほか、番組モニター制度によって、一般視聴者・聴取者のご意見を頂戴する機会を設けています。その内容は社内で共有し、今後に生かしています。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・分野別に担当部署を決めていたり、委員会や会議を設立して対応しています。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・【予定】令和4年12月末までに、体系的なリスク特定・評価、マネジメントの仕組みを構築し、適切な対策を講じることができるように努めます。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・情報を取り扱う企業として、とくに情報セキュリティや個人情報保護に関する方針はHPで公表しています。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・南海トラフ地震等の有事に備えて、BCPを策定し、毎年見直しを行っています。 ・報道制作現場では毎月発災時の放送訓練を行い、いかなる場合でも情報を発信し続けられるように努めています。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・人事をはじめ、各部局での人材育成によって、円滑な事業承継を目指しています。 ・組織マネジメント上のさまざまな分野において、管理職研修の開催や管理職への直接的な情報提供によって、意識の向上を図っています。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・定期の防災訓練、非常放送訓練の実施をはじめ、策定したBCPの周知徹底に努めています。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・従業員に防災士資格の取得を奨励していて、費用は会社負担としています。令和3年12月末現在で社内の有資格者は27人となっています。今後も取り組みを継続し、地域防災の担い手としても貢献できるよう力を入れていきます。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・会社の経営方針とSDGsの理念は相通じる部分多く、SDGsの概念が確立される前から、ローカル放送局としてさまざまな社会課題の解決を目指した事業を展開してきました。今後も双方を意識しながら取り組んでいきます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・採用活動においては、近年中途採用の機会を増やすなどして、UIターン就職の受け皿となるべく取り組みを進めています。定期の新卒採用は継続しながら、高知に興味のあるUIターン希望の人材に積極的にアプローチしていくよう努めます。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・豊かで住みよい地域づくりと高知の発展を目指すため、中山間地域にスポットをあてた番組や事業を数多く手がけています。その姿勢は今後も変わることはありません。								8	9		11						